

いずみさの教育



問合先
学校教育課

環境教育について

～主体的な環境保全への関わりをめざして～

現在、温暖化やオゾン層の破壊、酸性雨など地球環境の悪化が深刻化し、環境問題への対応が人類の生存と繁栄にとって緊急かつ重要な課題となっています。豊かな自然環境を守り、次の世代へとつないでいくためには、エネルギーの効率的な利用など環境への負荷が少なく持続可能な社会を構築することが大切です。そのためには、様々な機会を通じて環境問題について学習し、自主的・積極的に環境保全活動に取り組んでいくことが重要であり、特に、未来を担う子どもたちへの環境教育は極めて重要な意義を有しています。

泉佐野市の小・中学校では、生活科・理科の時間の「身近な自然の観察」「植物の発芽・成長」「生き物と環境」「エネルギーの有効利用」などの学習をはじめとして、社会科「飲料水、電気、ガスの確保」「廃棄物の処理」「地域社会における災害」、家庭科「ごみの始末の仕方や不用品の再利用」「気持ちのよい住まい方」、さらには保健体育や道徳、特別活動などの時間に取組を進めています。また、「浄水場・ゴミ処理場見学」「川探検」「地域の清掃活動」「リサイクルについての調べ学習」「ゲストティーチャーを招いての聞き取り学習」など地域学習を含めた総合的な学習の時間の活動など、それぞれのねらいや特質、発達段階を踏まえた取組が一層充実した横断的・総合的な学習の展開となることをめざしています。



学校園紹介



二小は今年で創立95周年 ～第二小学校～

第二小学校は、大正9（1920）年に創立以来、今年で95周年を迎えます。昭和45（1970）年大阪万博の年に50周年、いよいよあと5年で2020年、100周年になります。東京オリンピック・パラリンピックの年です。今の1年生が6年生になる年です。平成22年3月に校舎、平成25年3月に体育館が新しく建て替えられ、昔の面影はなくなりましたが、これまでの歴史と伝統の重みを感じています。

まもなく100周年を迎えるにあたり、昔の資料や写真を探していましたところ、たいへん貴重な資料が出てきました。そのいくつかを紹介します。

●昭和9（1934）年9月21日には、室戸台風で全校舎が倒壊、昭和34（1959）年1月17日には、当時の新聞にも載るほどの火災により12教室が焼失し、二度の災害を経験しました。

●今から84年前の昭和7（1932）年ごろ、二小が青少年赤十字の活動でスウェーデンと交流していた資料が見つかりました。

●創立50周年の記念行事…昭和45（1970）年大阪万博の年です。当時は遠足で万博公園に行きました。

また、二小にまつわる方から昔の資料をもらってこないかという連絡があり、昭和10年代の「卒業記念写真帳」や当時の「通知表」などをいただきました。（これら以外にも古い写真や資料が残っています）

100周年に向けて、これらの資料と共に歴史や伝統を受け継ぎながら、現在の子どもたちと一緒にこれからの二小の歴史を作っていきたいと思ひます。

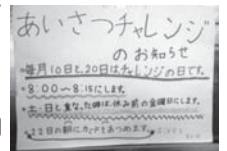


みんなで「より良い学校」に！ ～中央小学校～

創立35周年となる節目の年。みんなでよりよい学校にしようと頑張っている中央小学校児童です。

●みんなでつくる「よい習慣」～あいさつ運動～

全高学年児童が交替で正門に立ち「おはようございます。」の声かけをしています。加えて学期に数回、「あいさつチャレンジ」と題して、生活安全委員会児童が、廊下で、元気に挨拶できた人にスタンプを押す取組も行っています。この日はいつも以上に元気な挨拶が校内のあちこちに響きわたります。



●みんなでつくる「美しい環境」～スリッパ洗い～

中央小学校では、トイレで使うスリッパを、全校児童がクラス持ち回りで洗っています。1年生から6年生まで、どの子も必ず洗うことになっています。普段自分たちが使っているスリッパを綺麗にすることで、トイレを丁寧に使うことを意識するよききっかけとなっています。人の役に立つ喜びを感じながら、みんな笑顔で活動しています。



●みんなでつくる「楽しい時間」～名人大会～

代表委員会の呼びかけで行われている「特技を全校児童の前で披露する大会」です。申込は児童会ポストに。大会当日、昼休みの体育館は大盛況です。素敵なダンス、衣装をまとってのピアノ演奏、朗読…。友だちの良さを称える惜しみない拍手と声援。体育館中に笑顔が広がります。



どの子どもにも活躍の場がある学校、お互いの良さを実感できる学校、居心地の良い学校に繋がる素敵な場面を、子どもたち自身が積極的に創造しています。